

第 2 3 号議案

平成 2 9 年度

大村市下水道事業会計予算



## 平成29年度大村市下水道事業会計予算

(総 則)

第1条 平成29年度大村市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 年度末整備面積	2, 300 ha
(2) 年間総処理水量	11, 766, 303 m <sup>3</sup>
(3) 一日平均処理水量	32, 237 m <sup>3</sup>
(4) 主要な建設改良事業	
汚水管及び雨水管布設工事	626, 090 千円
水処理施設増設工事	539, 460 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。なお、営業外費用中公共下水道事業企業債利息 303, 189千円の財源に充てるため、企業債 34, 552千円を借り入れる。

	収	入
第1款 下水道事業収益		3, 213, 301 千円
第1項 営業収益		2, 149, 751 千円
第2項 営業外収益		1, 063, 547 千円
第3項 特別利益		3 千円
	支	出
第1款 下水道事業費用		2, 598, 727 千円
第1項 営業費用		2, 224, 533 千円
第2項 営業外費用		363, 317 千円
第3項 特別損失		877 千円
第4項 予備費		10, 000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1, 374, 916千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額51, 379千円及び過年度分損益勘定留保資金1, 323, 537千円で補填するものとする。）。

		収	入
第1款	資本的収入		1, 516, 450千円
第1項	企業債		709, 378千円
第2項	負担金		110, 110千円
第3項	補助金		119, 557千円
第4項	固定資産売却代金		1千円
第5項	交付金		577, 403千円
第6項	寄附金		1千円
		支	出
第1款	資本的支出		2, 891, 366千円
第1項	建設改良費		1, 492, 298千円
第2項	企業債償還金		1, 389, 068千円
第3項	予備費		10, 000千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
大村浄水管理センター汚泥処分業務委託	平成30年度	58, 320千円
大村浄水管理センター汚泥運搬業務委託	平成30年度	13, 297千円
大村浄水管理センター水処理施設機械設備工事	平成30年度	273, 190千円
大村浄水管理センター水処理施設電気設備工事	平成30年度	204, 000千円
大村市水道局料金業務等業務委託 (その2)	平成30年度	719千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
公共下水道整備事業費 下水道事業借換債	千円 743,930	証書借入	年利5.0%以内  ただし、利率見直し方式で借入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率	政府資金又は地方公共団体金融機構資金については、その貸付条件による。その他の資金については貸付先と協議して定める。  ただし、企業財政その他の都合により、据置期間及び償還期限を短縮し、若しくは繰上償還又は低利債に借換えすることができる。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、1,500,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用と営業外費用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| (1) 職員給与費 | 194,739千円 |
| (2) 交際費   | 30千円      |

(他会計からの補助金)

第10条 下水道事業における雨水処理等の経費に充てるため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、708,289千円である。

平成29年2月28日提出

大村市長 園田 裕史



## 附 属 書 類

### 目 次

1	平成29年度大村市下水道事業会計予算実施計画	6頁
2	給与費明細書	8頁
3	債務負担行為に関する調書	10頁
4	平成29年度大村市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書	11頁
5	平成29年度大村市下水道事業予定貸借対照表（当年度分）	12頁
6	平成28年度大村市下水道事業予定損益計算書（前年度分）	14頁
7	平成28年度大村市下水道事業予定貸借対照表（前年度分）	16頁

平成29年度大村市下水道事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

款	項	目	予定額 (千円)	備 考	
1 下水道事業収益	1 営業収益	1 下水道使用料	3,213,301		
		2 雨水処理負担金	2,149,751	一般会計負担金	
		3 その他営業収益	1,981,557	督促料、消化ガス売却収益	
	2 営業外収益	1 受取利息及び配当金	150,203	1,063,547	
		2 他会計補助金	17,991	601	一般会計補助金
		3 長期前受金戻入	438,529	618,334	
		4 雑 収 益	6,083	3	下水道敷使用料ほか
	3 特別利益	1 固定資産売却益	1	1	
		2 過年度損益修正益	1	1	
		3 その他特別利益	1	1	

支 出

款	項	目	予定額 (千円)	備 考	
1 下水道事業費用	1 営業費用	1 管 渠 費	2,598,727		
		2 ポ ン プ 場 費	2,224,533		
		3 処 理 場 費	87,749		
		4 大 村 湾 南 部 流 域 下 水 道 費	59,765	大村湾南部流域下水道維持 管理負担金	
		5 業 務 費	396,158		
		6 総 係 費	14,432		
		7 減 価 償 却 費	93,589		
		8 資 産 減 耗 費	147,111	固定資産の除却又は廃棄に 要する経費	
	2 営業外費用	1 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	1,387,474	303,190	企業債等の支払利息
		2 補 助 金	38,255	126	水洗便所改造資金貸付金利 子補給金
		3 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	363,317	60,000	消費税及び地方消費税納付 分
		4 雑 支 出	1	1	
	3 特別損失	1 過年度損益修正損	877	876	過年度調定分還付金ほか
		2 その他特別損失	1	1	
	4 予 備 費	1 予 備 費	10,000	10,000	

## 資本的収入及び支出

### 収 入

款	項	目	予定額 (千円)	備 考	
1 資本的収入	1 企 業 債 2 負 担 金 3 補 助 金 4 固定資産売却代金 5 交 付 金 6 寄 附 金	1 企 業 債	1,516,450		
		1 企 業 債	709,378		
		1 受 益 者 負 担 金	709,378		下水道建設事業債
		2 工 事 負 担 金	110,110		汚水管移設工事負担金
		2 工 事 負 担 金	11,312		
		1 国 県 補 助 金	98,798		一般会計補助金
		2 他 会 計 補 助 金	119,557		
		1 国 県 補 助 金	0		社会資本整備総合交付金
		2 他 会 計 補 助 金	119,557		
		1 固 定 資 産 売 却 代 金	1		
		1 固 定 資 産 売 却 代 金	1		
		1 国 県 交 付 金	577,403		
1 国 県 交 付 金	577,403				
1 寄 附 金	1				
1 寄 附 金	1				

### 支 出

款	項	目	予定額 (千円)	備 考	
1 資本的支出	1 建設改良費 2 企業債償還金 3 予 備 費	1 給 与 費 等	2,891,366		
		1 給 与 費 等	1,492,298		
		2 公 共 事 業	34,206		大村湾南部流域下水道 地元負担金
		3 単 独 事 業	1,282,582		
		4 大 村 湾 南 部 流 域 下 水 道 事 業	169,592		
		5 受 益 者 負 担 金 経 費	2,260		
		6 投 資	3,658		
		6 投 資	0		
		1 企 業 債 償 還 金	1,389,068		企業債の元金償還
		1 企 業 債 償 還 金	1,389,068		
		1 予 備 費	10,000		
		1 予 備 費	10,000		

# 給 与 費 明 細 書

## 1 総 括 (かっこ書きは再任用職員)

区 分	職 員 数		給 与 費					法 定 福 利 費 (千円)	合 計 (千円)
	特 別 職 (人)	一 般 職 (人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)	手 当 (千円)	退 職 給 付 費 (千円)	計 (千円)		
本 年 度	損益勘定支弁職員	19 (1)		68,639	39,630	30,029	138,298	23,135	161,433
	資本勘定支弁職員	5		16,322	11,602		27,924	5,382	33,306
	合 計	24 (1)		84,961	51,232	30,029	166,222	28,517	194,739
前 年 度	損益勘定支弁職員	19 (1)		73,242	37,673	31,997	142,912	23,135	166,047
	資本勘定支弁職員	5		14,811	10,093		24,904	4,231	29,135
	合 計	24 (1)		88,053	47,766	31,997	167,816	27,366	195,182
比 較	損益勘定支弁職員			△ 4,603	1,957	△ 1,968	△ 4,614		△ 4,614
	資本勘定支弁職員			1,511	1,509		3,020	1,151	4,171
	合 計			△ 3,092	3,466	△ 1,968	△ 1,594	1,151	△ 443

手 当 の 内 訳	区 分	扶 養 手 当 (千円)	住 居 手 当 (千円)	通 勤 手 当 (千円)	時 間 外 勤 務 手 当 (千円)	管 理 職 手 当 (千円)	期 末 勤 勉 手 当 (千円)
	本 年 度	4,230	2,717	1,322	7,838	1,910	33,215
	前 年 度	4,038	2,178	1,042	6,313	1,910	32,285
	比 較	192	539	280	1,525		930

## 2 給料及び手当の増減額の明細

区 分	増減額 (千円)	増 減 事 由 別 内 訳 (千円)	説 明	備 考
給 料	△ 3,092	給与改定に伴う増加分	220	改定率0.25%
		昇給に伴う増加分	1,565	定昇率1.82%
		その他の増減分	△ 4,877	異動等による
手 当	3,466	制度改正に伴う増加分	815	勤勉手当、扶養手当
		その他の増減分	2,651	異動等による

## 3 給料及び手当の状況

### (1) 職員1人当たり給与

区 分	企 業 職	
平成28年 12月1日現在	平均給料月額(円)	283,776
	平均給与月額(円)	333,357
	平均年齢(歳)	39.8
平成27年 12月1日現在	平均給料月額(円)	305,225
	平均給与月額(円)	400,699
	平均年齢(歳)	41.0

### (2) 初任給

区 分	企 業 職 (円)	一般会計の制度	
		行政職 (円)	
本 年 度	高校卒	146,100	146,100
	大学卒	178,200	178,200

## (3) 級別職員数 (かっこ書きは再任用職員)

区 分	職員の級	職員数(人)	構成比(%)	区 分	職員の級	職員数(人)	構成比(%)
平成28年 12月1日現在	7級	1	4.2	平成27年 12月1日現在	7級	1	4.3
	6級	2	8.3		6級	2	8.7
	5級	1	4.2		5級	1	4.3
	4級	8	33.3		4級	8	34.8
	3級	2	8.3		3級	2	8.7
	2級	4 (1)	16.7 (100.0)		2級	5 (1)	21.8 (100.0)
	1級	6	25.0		1級	4	17.4
計	24 (1)	100.0 (100.0)	計	23 (1)	100.0 (100.0)		

## (級別の標準的な職務内容)

企 業 職			
7級	部長の職務	3級	主査の職務
6級	課長の職務	2級	相当の知識又は経験を必要とする業務を行う 主事又は技師の職務
5級	課長補佐の職務	1級	主事又は技師の職務
4級	1 係長の職務 2 主任の職務		

## (4) 昇給

区 分	企 業 職	
職員数 (A) (人)	24	
昇給に係る職員数 (B) (人)	22	
号給数別内訳	2号給 (人)	
	4号給 (人)	22
	6号給 (人)	
	8号給 (人)	
比率 (B) / (A) (%)	91.7%	

## (5) 期末手当・勤勉手当 (かっこ書きは再任用職員)

区 分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	職制上の段階、 職務の級等による 加算措置	備 考
	6月(月分)	12月(月分)			
本年度	2.075 (1.050)	2.225 (1.200)	4.30 (2.25)	有	
前年度	2.025 (1.025)	2.275 (1.225)	4.30 (2.25)	有	
一般会計の制度	2.075 (1.050)	2.225 (1.200)	4.30 (2.25)	有	

## (6) 定年退職及び勸奨退職に係る退職手当

区 分	20年勤続 の者(月分)	25年勤続 の者(月分)	35年勤続 の者(月分)	最高限度額 (月分)	その他の 加算措置等	備 考
支給率等	25.55625	34.5825	49.59	49.59	定年前早期 退職者特例措置 2%~45%加算	
一般会計の 制度 (支給率等)	25.55625	34.5825	49.59	49.59	定年前早期 退職者特例措置 2%~45%加算	

## (7) その他の手当

区 分	一 般 会 計 の 制 度 と の 異 同
扶 養 手 当	同 じ
住 居 手 当	同 じ
通 勤 手 当	同 じ

### 債務負担行為に関する調書

事 項	限度額	前年度末までの 支払義務発生 (見込) 額		当該年度以降の 支払義務発生 予定額		左の財源内訳			
		期 間	金 額	期 間	金 額	国 庫 金 支 出 金	企 業 債	損益勘定 留保資金	自 己 金
大村市水道局料金業務等 業務委託	千円 294,724	平成26年度から 平成28年度まで	千円 164,097	平成29年度から 平成30年度まで	千円 130,627	-	-	-	千円 130,627
水道料金等のコンビニエ ンスストア収納事務委託	事務委託に 要する経費	平成26年度から 平成28年度まで	-	平成29年度から 平成30年度まで	限度額に 同じ	-	-	-	限度額に 同じ
大村市下水道施設運転 管理業務委託	1,090,937	平成26年度から 平成28年度まで	600,177	平成29年度から 平成30年度まで	490,760	-	-	-	490,760
大村浄水管理センター汚 泥処分業務委託	58,320	-	-	平成30年度	58,320	-	-	-	58,320
大村浄水管理センター汚 泥運搬業務委託	13,297	-	-	平成30年度	13,297	-	-	-	13,297
大村浄水管理センター水 処理施設機械設備工事	273,190	-	-	平成30年度	273,190	150,255	109,200	13,735	-
大村浄水管理センター水 処理施設電気設備工事	204,000	-	-	平成30年度	204,000	112,200	81,600	10,200	-
大村市水道局料金業務等 業務委託 (その2)	719	-	-	平成30年度	719	-	-	-	719

## 平成29年度大村市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

	千円
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	571,901
減価償却費	1,387,474
固定資産除却費	38,255
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	571
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,256
賞与引当金の増減額 (△は減少)	135
法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	△ 199
修繕引当金の増減額 (△は減少)	0
長期前受金戻入額	△ 618,334
受取利息及び配当金	△ 601
支払利息	303,190
有形固定資産売却損益 (△は益)	0
未収金の増減額 (△は増加)	25,094
未払金の増減額 (△は減少)	57,295
前払金の増減額 (△は増加)	0
小計	1,774,037
利息及び配当金の受取額	601
利息の支払額	△ 303,190
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,471,448
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,393,404
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△ 2,093
無形固定資産の売却による収入	0
国庫補助金等による収入	538,909
一般会計からの繰入金による収入	110,701
負担金による収入	102,038
寄附金による収入	1
その他投資による支出	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 643,847
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	647,600
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 1,052,327
その他の企業債による収入	96,330
その他の企業債の償還による支出	△ 336,741
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 645,138
資金増加額 (又は減少額)	182,463
資金期首残高	2,261,415
資金期末残高	2,443,878

平成29年度大村市下水道事業予定貸借対照表（当年度分）

（平成30年3月31日）

		資 産 の 部			
1 固 定 資 産		円	円	円	円
(1) 有形固定資産					
イ 土 地			2,234,338,079		
ロ 建 物		1,450,149,463			
	減価償却累計額	<u>△ 857,763,216</u>	592,386,247		
ハ 建物附属設備		24,699,099			
	減価償却累計額	<u>△ 9,972,343</u>	14,726,756		
ニ 構 築 物		48,500,835,564			
	減価償却累計額	<u>△ 13,452,851,539</u>	35,047,984,025		
ホ 機械及び装置		10,436,088,713			
	減価償却累計額	<u>△ 5,670,887,886</u>	4,765,200,827		
ヘ 車両運搬具		3,597,864			
	減価償却累計額	<u>△ 2,883,877</u>	713,987		
ト 工具器具及び備品		18,671,512			
	減価償却累計額	<u>△ 14,427,273</u>	4,244,239		
チ 建設仮勘定					<u>0</u>
	有形固定資産合計			42,659,594,160	
(2) 無形固定資産					
イ 流域下水道利用権			157,807,697		
ロ ソフトウェア			<u>60,831,096</u>		
	無形固定資産合計			218,638,793	
(3) 投資その他の資産					
イ その他投資			<u>35,790</u>		
	投資その他の資産合計			<u>35,790</u>	
	固定資産合計				42,878,268,743
2 流動資産					
(1) 現金預金				2,443,878,276	
(2) 未収金		301,001,610			
	貸倒引当金	<u>△ 4,885,000</u>	296,116,610		
(3) 前払金					<u>0</u>
	流動資産合計				<u>2,739,994,886</u>
	資産合計				<u>45,618,263,629</u>

負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	12,651,515,509		
ロ その他の企業債	<u>669,879,728</u>		
企業債合計		13,321,395,237	
(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	212,064,026		
ロ 修繕引当金	<u>102,281,003</u>		
引当金合計		<u>314,345,029</u>	
固定負債合計			13,635,740,266
4 流動負債			
(1) 一時借入金			0
(2) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	1,025,454,785		
ロ その他の企業債	<u>203,514,950</u>		
企業債合計		1,228,969,735	
(3) 未払金		703,966,039	
(4) 預り金		4,569,252	
(5) 引当金			
イ 賞与引当金	10,633,000		
ロ 法定福利費引当金	2,027,000		
ハ 修繕引当金	<u>0</u>		
引当金合計		<u>12,660,000</u>	
流動負債合計			1,950,165,026
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		31,196,823,837	
(2) 長期前受金 収益化累計額		<u>△ 10,690,036,008</u>	
繰延収益合計			<u>20,506,787,829</u>
負債合計			<u>36,092,693,121</u>

資本の部

6 資本金			4,989,982,184
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 他会計補助金	1,203,533,014		
ロ 国庫補助金	2,218,407,227		
ハ 工事負担金	122,569,890		
ニ 受贈財産評価額	122,815,711		
ホ 寄附金	972,388		
ハ 受益者負担金	151,350,586		
ト 国県交付金	<u>24,592,888</u>		
資本剰余金合計		3,844,241,704	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>691,346,620</u>		
利益剰余金合計		<u>691,346,620</u>	
剰余金合計			<u>4,535,588,324</u>
資本合計			<u>9,525,570,508</u>
負債資本合計			<u>45,618,263,629</u>

平成28年度大村市下水道事業予定損益計算書（前年度分）

（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

	千円	千円	千円
1 営業収益			
(1) 下水道使用料	1,891,463		
(2) 雨水処理負担金	284,768		
(3) その他営業収益	17,300	2,193,531	
2 営業費用			
(1) 管渠費	104,387		
(2) ポンプ場費	55,721		
(3) 処理場費	370,522		
(4) 流域下水道費	13,269		
(5) 業務費	78,914		
(6) 総係費	141,461		
(7) 減価償却費	1,377,970		
(8) 資産減耗費用	41,519		
(9) その他営業費用	0	2,183,763	
営業利益			9,768
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	751		
(2) 国庫補助金	0		
(3) 他会計補助金	318,474		
(4) 長期前受金戻入益	641,914		
(5) 雑収益	5,175	966,314	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	337,080		
(2) 貸付金利子補助金	131		
(3) 繰延勘定償却	0		
(4) 雑支出	2,094	339,305	627,009
経常利益			636,777
5 特別利益			
(1) 固定資産売却益	1		
(2) 過年度損益修正益	1		
(3) その他特別利益	1	3	
6 特別損失			
(1) 固定資産売却損	0		
(2) 過年度損益修正損	846		
(3) その他特別損失	1	847	△ 844
当年度純利益			635,933
前年度繰越利益剰余金			119,446
その他未処分利益剰余金			
変動額			0
当年度未処分利益剰余金			755,379



平成28年度大村市下水道事業予定貸借対照表（前年度分）

（平成29年3月31日）

		資 産 の 部			
1 固 定 資 産		円	円	円	円
(1) 有形固定資産					
イ 土 地			2,234,339,079		
ロ 建 物		1,450,149,463			
	減価償却累計額	<u>△ 835,022,216</u>	615,127,247		
ハ 建物附属設備		24,699,099			
	減価償却累計額	<u>△ 8,800,343</u>	15,898,756		
ニ 構築物		47,641,990,564			
	減価償却累計額	<u>△ 12,417,718,539</u>	35,224,272,025		
ホ 機械及び装置		9,939,784,713			
	減価償却累計額	<u>△ 5,362,406,886</u>	4,577,377,827		
ヘ 車両運搬具		3,597,864			
	減価償却累計額	<u>△ 2,373,877</u>	1,223,987		
ト 工具器具及び備品		18,671,512			
	減価償却累計額	<u>△ 12,304,273</u>	6,367,239		
チ 建設仮勘定			<u>0</u>		
	有形固定資産合計			42,674,606,160	
(2) 無形固定資産					
イ 流域下水道利用権			161,234,697		
ロ ソフトウェア			<u>72,625,096</u>		
	無形固定資産合計			233,859,793	
(3) 投資その他の資産					
イ その他投資			<u>35,790</u>		
	投資その他の資産合計			<u>35,790</u>	
	固定資産合計				42,908,501,743
2 流動資産					
(1) 現金預金				2,261,414,796	
(2) 未収金		326,095,870			
	貸倒引当金	<u>△ 4,314,000</u>	321,781,870		
(3) 前払金				<u>0</u>	
	流動資産合計				<u>2,583,196,666</u>
	資産合計				<u>45,491,698,409</u>

負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	13,028,203,509		
ロ その他の企業債	<u>777,064,728</u>		
企業債合計		13,805,268,237	
(2) 引当金			
イ 退職給付引当金	202,808,026		
ロ 修繕引当金	<u>102,281,003</u>		
引当金合計		<u>305,089,029</u>	
固定負債合計			14,110,357,266
4 流動負債			
(1) 一時借入金			0
(2) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	1,053,493,785		
ロ その他の企業債	<u>336,740,950</u>		
企業債合計		1,390,234,735	
(3) 未払金		646,670,819	
(4) 預り金		4,569,252	
(5) 引当金			
イ 賞与引当金	10,498,000		
ロ 法定福利費引当金	2,226,000		
ハ 修繕引当金	<u>0</u>		
引当金合計		<u>12,724,000</u>	
流動負債合計			2,054,198,806
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		30,445,174,837	
(2) 長期前受金 収益化累計額		<u>△ 10,071,702,008</u>	
繰延収益合計			<u>20,373,472,829</u>
負債合計			<u>36,538,028,901</u>

資本の部

6 資本金			4,354,049,184
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 他会計補助金	1,203,533,014		
ロ 国庫補助金	2,218,407,227		
ハ 工事負担金	122,569,890		
ニ 受贈財産評価額	122,815,711		
ホ 寄附金	972,388		
ハ 受益者負担金	151,350,586		
ト 国県交付金	<u>24,592,888</u>		
資本剰余金合計		3,844,241,704	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>755,378,620</u>		
利益剰余金合計		<u>755,378,620</u>	
剰余金合計			<u>4,599,620,324</u>
資本合計			<u>8,953,669,508</u>
負債資本合計			<u>45,491,698,409</u>

## 注記

### I. 重要な会計方針

平成26年度から、改定後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

#### 1 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法による。
- ・主な耐用年数
  - 建物 15～50年
  - 構築物 10～50年
  - 機械及び装置 15年
  - 工具・器具及び備品 4～15年

##### (2) 無形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法による。
- ・主な耐用年数
  - 流域下水道利用権 20～50年
  - ソフトウェア 5年

#### 2 引当金の計上方法

##### (1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。

##### (2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

##### (3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度手当の負担に属する額を計上している。

##### (4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率により、回収不能見込額を計上している。

#### 3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

## II. 予定貸借対照表等関連

### 1 企業債の償還に係る他会計の負担

平成29年度において、貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものを含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は5,515,057千円である。

### 2 平成28年度予定貸借対照表における引当金の取崩し

#### (1) 賞与引当金の取崩し

平成28年度において、期末手当及び勤勉手当として支給するため、賞与引当金10,871千円を取り崩すこととする。

#### (2) 法定福利費引当金の取崩し

平成28年度において、期末手当及び勤勉手当の支給に伴う法定福利費として支払うため、法定福利費引当金2,433千円を取り崩すこととする。

#### (3) 貸倒引当金の取崩し

平成28年度において、債権の不納欠損による損失を処理するため、貸倒引当金2,140千円を取り崩すこととする。

### 3 平成29年度予定貸借対照表における引当金の取崩し

#### (1) 賞与引当金の取崩し

平成29年度において、期末手当及び勤勉手当として支給するため、賞与引当金10,498千円を取り崩すこととする。

#### (2) 法定福利費引当金の取崩し

平成29年度において、期末手当及び勤勉手当の支給に伴う法定福利費として支払うため、法定福利費引当金2,226千円を取り崩すこととする。

#### (3) 貸倒引当金の取崩し

平成29年度において、債権の不納欠損による損失を処理するため、貸倒引当金4,314千円を取り崩すこととする。

## III. その他注記

### 新会計基準移行に係る経過措置

#### (1) 退職給付引当金に関する経過措置

会計基準変更時差異（244,597千円）については、平成26年度に一括して費用処理している。

#### (2) 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

#### (3) リース資産に係る経過措置

リース取引開始日が平成26年3月31日以前のリース取引については、引き続き通常の賃

貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) みなし償却制度の廃止に伴う経過措置

平成26年3月31日における償却資産の取得又は改良に充てるための補助金等で現に資本剰余金として整理している額については、平成26年3月31日以前に取得又は改良した資産で、取得又は改良した資産と補助金等との対応関係を個別的に把握できる資産を除いたすべての資産（ただし、補助金等を充てずに取得又は改良したことが明らかな資産は除く。）を対象とした按分等の方法を用いて合理的に整理している。